

ポータブル発電機操作研修会を実施しました

仙台市太白障害者福祉センター

令和4年7月8日（金）、仙台市太白障害者福祉センターにて、ポータブル発電機の操作研修会を開催し、各区・総合支所の保健師及び看護師が15名程度参加されました。

はじめに、ウエルポート仙台難病支援系の齋藤係長より、仙台市障害者福祉センターに自家発電機が設置された経緯、自家発電機の概要(供給電力、稼働時間、重量等)等について説明がありました。続いて、当センターに防災備品として保管してあるポータブル発電機（ホンダ製、ヤマハ製各2台）を用いて、引田所長、田中統括主任が操作説明をして実演し、その後、参加者に実施していただきました。エンジンの始動は、始動グリップを勢いよく引く、またはエンジンスイッチを回します(下図参照)。始動グリップは、双方にあります。エンジンスイッチはホンダ製のみでヤマハ製にはありません。始動グリップの引き方は、少々コツが必要で、何人かはエンジンを始動させることができない方もいらっしゃいましたが、繰り返し実施することでエンジンを始動できるようになる方も多くいらっしゃいました。

この度の研修は、自家発電機について知識の習得と実技練習を行うことで大変有意義でした。このような機会があれば積極的に協力して、災害時に協働できる体制作りに取り組んでいきたいと思えます。



ホンダ製



ヤマハ製

